

犬塚教授のコメント

皆さんに本当に建設的なご意見をたくさん出していただきましたし、避難所運営マニュアルが何のためにあるのかということをご一度考える良い機会にもなったと思います。

この講座で終わりではなく、随時、男女問わず、地域の皆さんの意見を反映しながら、アップデートしていただくことが一番大事であると思います。



第四地区東の皆さんが男女共同参画の視点で防災さらには、防災に限らずあらゆる地域活動に男女共同参画の視点を入れて活発な活動をしていただきたいと思います。

第四地区東より

第四地区東は令和6・7年で、「地域づくり講座」「フォローアップ講座」を通して、男女共同参画の視点から考える防災について学びました。第四地区東連合自治会長の三澤会長より講座を通じてのコメントをいただきました。

<コメント>

この2年間で実施した「地域づくり講座」と「フォローアップ講座」を通じて、防災含めすべての地区活動には女性の視点を取り入れることが重要だと再認識いたしました。また、既存マニュアルに新しい視点を取り入れる良いきっかけとなりました。今後も多様な視点を取り入れ、更なる防災、その他地区活動の充実に努めていきたいです。



令和7年度沼津市男女共同参画情報誌

ハーモニー

沼津市では、男女共同参画意識の浸透や定着化を目的に、男女ともに地域活動に参画する体制づくりの支援に取り組んでいます。令和6年度から7年度にかけて、第四地区東連合自治会とともに男女共同参画の視点の必要性について認識を深め、男女ともに地域活動に参画できるよう、講義とワークショップを行いました。

今回、この2年間の第四地区東の取り組みの報告として「ハーモニー」を作成しましたので、皆さんにお届けします。今後の地域活動の参考にいただければ幸いです。

令和6年度 男女共同参画地域づくり講座

令和6年度には計4回の講座を開催しました。連合自治会、単位自治会の役員、防災指導員の方々を中心に、約30人の皆さんにご参加頂きました。

静岡県立大学国際関係学部の犬塚教授を講師にお招きし、「男女共同参画の視点で見直す地域防災活動」をテーマに開催。男女共同参画の基礎から、学んだ内容を活かした避難所設営の図上演習まで、男女共同参画の視点に立った地域防災活動を考えるワークショップを行いました。



令和7年度は、第四地区西にて「地域づくり講座」を実施！

令和7年度は第四地区西で「男女共同参画の視点からの避難所設営」をテーマに「地域づくり講座」を計4回実施しました。第1・2回は、男女共同参画についての基礎的な知識について、犬塚教授にご講義いただき、防災の穴埋めクイズを行いました。第3回はHUG訓練、第4回は、実際に避難する体育館を想定した、避難所運営の図面演習とグループごとの発表を行い、講評を頂きました。



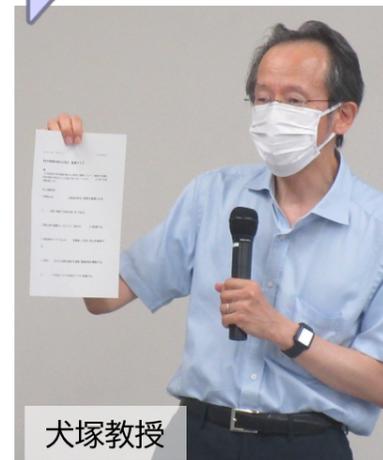
地域活動に男女共同参画の視点が必要な理由は何か？

高度経済成長期において、性別により役割を決めつける「性別役割分業」の考え方は、効率が良く、その仕組みが上手く機能していましたが、現在の社会においては、むしろリスクとなり、女性の社会進出等で人々の意識が「男女共同参画」の考えに変化しつつありますが、実態は大きく変わっていないのが現状です。

地域活動においても、世代・性別の大きな偏り(年配の男性ばかりが中心で負担がかなり大きい)が見受けられると思います。それらを解消するためには、女性のトップ・役職への参画、男性中心型の地域慣行や慣例、規約等の徹底的変革を実践する必要があります。

また、近年は気候変動等により、自然災害のリスクが高くなり、毎年のように全国各地で甚大な被害が頻発している状況にあります。男女共同参画の視点を普段から地域活動に取り入れておくことで、そういった災害時においても性別関係なく地区全体で助け合うことができます。

地域活動において、多様な意見の反映は必要不可欠です。



犬塚教授



発行：沼津市 政策推進部 地域自治課 協働推進係
〒410-8601 沼津市御幸町16-1
TEL : 055-934-4807
FAX : 055-931-2606
Mail: kyodo@city.numazu.lg.jp
(令和8年3月発行)



男女共同参画についての沼津市HPIはこちら

男女共同参画地域づくり講座の振り返り

○第1回（令和6年9月2日）

男女共同参画とは、「そもそも何なのか」「なぜ必要なのか」について、犬塚教授にご講義いただきました。

概要説明後には、内閣府作成のガイドラインから抜粋した「防災基礎クイズ」に挑戦しました。

○第2回（令和6年10月7日）

第1回目の振り返りとともに、身近な地域が被災したことによる経験談も交え、男女共同参画の視点を取り入れた防災力の必要性について考えました。

グループに分かれ、内閣府作成の「避難所チェックシート」を議論しながら解きました。



男女共同参画の視点からの防災 6つの基本方針

1. 平常時からの(**男女共同参画**)の推進が防災・復興の基礎となる。
2. (**女性**)は防災・復興の「主体的な担い手」である。
3. 災害から受ける影響やニーズの(**男女の違い**)に配慮する。
4. (**男女の人権**)を尊重して安全・安心を確保する。
5. (**女性の視点**)を入れて必要な地域での連携・協働体制を構築する。
6. (**要配慮者**)への対応についても女性のニーズに配慮する。

○第3回（令和6年11月11日）

第3回からは、第四地区東の指定避難所である「第四小学校体育館」の図面上に、同じ縮尺で印刷した資機材シート（パーテーションやプライベートルーム等）を配置する、避難所設営の図面演習を行いました。

第4回は、第3回で考えた避難所レイアウトについて、グループごと発表を行いました。男女共同参画の視点だけではなく、体育館に付随する設備等の各避難所の特徴も考慮しつつ考えるレイアウト作成について、悩む様子も多く見られましたが、犬塚教授の助言も受けながら、すべてのグループが、工夫点等を他の参加者へ伝え、地区全体で情報を共有しました。



↑性別関係なく意見を出し合い、避難所レイアウトについて考えました。



↑グループごとに考えたレイアウトの工夫点やポイントを発表後に、講評を受けました。

令和7年度 男女共同参画フォローアップ講座

令和6年度に実施した「男女共同参画地域づくり講座」を踏まえ、地域におけるさらなる男女共同参画の意識の定着を図り、継続的に男女共同参画活動の実現をサポートするため、「男女共同参画フォローアップ講座」を実施しました。

引き続き、「地域防災において男女共同参画の意識がなぜ重要なのか」という視点で、“女性と要配慮者等にきめこまやかな対応ができる避難所運営マニュアル”をテーマに、計2回の講座を開催。引き続き講師を務める、犬塚教授よりアドバイスをいただきました。

○第1回（令和7年10月20日）

令和6年度の初回講座にて行った「男女共同参画の概要」と「防災になぜ男女共同参画の視点が必要か」について、再度復習を行いました。今年度初めて参加された方も男女共同参画についての重要性を学ぶことができました。

自治会ごと5つのグループに分かれ、クイズ等の解答を話し合いました。講師による実際にあった震災（阪神・淡路大震災や東日本大震災）に関連するクイズや実話を聞いて、防災における男女共同参画の視点の重要性を再確認しました。



↑第1回講座では、昨年度「地域づくり講座」で学んだ男女共同参画についての復習として、資料を確認しながらグループワークを実施しました。



○第2回（令和7年11月10日）

「第四小学校避難所運営マニュアル」について、男女共同参画の視点を取り入れた内容が含まれているかをグループで検証し、修正する点や加える点について話し合いました。

避難所運営マニュアルを初めて見る参加者も多い中で、どの部分を修正・加筆すれば、もっと良いマニュアルになるか等をグループごと性別関係なく意見を出し合い、最後にグループでまとめた意見を発表し、講師から講評を受けました。

また、グループで発表した意見等を既存マニュアルへ反映できるように、地区全体へ情報共有しました。



既存マニュアルに男女共同参画の視点が入っているかを確認!

